

ハローワーク川崎で個別説明会を実施



自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 宮城英明1等陸尉）は、ハローワーク川崎（川崎市川崎区）で毎月1回、第3木曜日に広報ブースを設置し、自衛隊に興味を持たれた方が広報官から直接説明を聞けるように、自衛官採用制度についての個別説明会を実施している。

7月18日（木）に実施した個別相談会では、6月末の川崎市市制100周年祝賀行事でブルーインパルスの展示飛行が行われたこともあり、自衛隊ブースには多くの来場者が足を止めてくれて、様々な年代の方から展示飛行についての話題が上がるなど、自衛隊が周知されていることをあらためて実感した。

当日、自衛隊ブースに相談に来てくれた20代の男性は、広報官から自衛隊の仕事内容や給与等の説明をじっくりと聞いて、自衛隊を将来の進路のひとつに加えてくれた様子だった。

川崎出張所は、「ハローワークでの個別説明会は毎月開催しているので、毎回趣向を凝らして来場者が立ち寄りやすい雰囲気作りを心掛けていきたい。また、今回のブルーインパルスの祝賀飛行をきっかけに、自衛隊に興味を持った方や、「パロットになりたい」と思った方の来所を期待して待っている」としている。

武山地区で陸海空自の部隊見学



神奈川地方協力本部（本部長 大谷三穂1等海佐）は、自衛隊に対する理解の促進を図り、防衛基盤の拡充に寄与する目的で、神奈川県近郊の各部隊に協力を要請して、学生の夏休み期間中に体験型の部隊見学を実施した。

7月22日（月）には横須賀市武山地区での部隊見学を実施した。同地区は陸、海、空の部隊が所在する珍しい地区で、自衛隊に興味がある高校生等が参加してくれた。最初に、参加者たちは、陸上自衛隊高等工科学校の教官から陸上自衛隊の概要説明を受けた後、「気を付け」や「休め」、敬礼の動作や方向転換などの基本動作を演練し、教官から「高校生の学生より飲み込みが早い」と褒められ笑顔をみせていた。警務隊を見学して昼食となり、午後からは陸上自衛隊第31普通科連隊の装備品展示を見学し、高機動車と軽装甲機動車の体験搭乗を行った。その後約15メートルの高さから降下するリベリング訓練展示や約35kgの背嚢を背負うなど様々な体験を行い、陸上自衛隊の見学を終了した。

次の海上自衛隊の研修では、横須賀教育隊の史料館で海上自衛官の1日や教育訓練の流れなどの説明を受け、約9kmの短艇のオールの重さを体感した後、岸壁に吊るされた状態の短艇への乗船などを体験した。最後に、航空自衛隊で第2高射隊のペトリオットを見学し、その装備の大きさに圧倒されていた。また、支援してくれた隊員の中には参加者と同じ高校出身者もいて、母校や自衛隊での勤務などの話題で会話も弾んでいるようだった。

炎天下の中での見学ではあったが、陸海空の部隊を一日で見学することができて参加者は満足した様子で、より自衛隊に対する理解と興味が深まったようだった。

神奈川地方協力本部では「支援をいただいた各部隊に感謝するとともに、今後も効果的な広報活動を実施していきたい」としている。

